

Pal Cato

パルカート

男女共同参画のための広報紙

こうとう区報別冊 2025年10月1日 発行

No.51



パルカート
2次元コード

江東区総務部人権推進課(男女共同参画推進センター)

〒135-0011 江東区扇橋3-22-2 TEL 03-5683-0341 FAX 03-5683-0340

バックナンバーはHPで公開中!(年1回発行)

Pal Cato(パルカート)

英語のpal(仲間、友だち)にちなんだ【パルシティ江東/Palcity】とイタリア語で1音1音をはっきり演奏することを示す音楽用語【マルカート/Marcatto】をあわせて、一人ひとりの生き方を認め、心豊かな社会を推進する広報紙名としました。

アンコンシャス・バイアスと 進路選択

「親が単身赴任中」と聞いて、お父さんのことだと思ったけれど、お母さんだった。

災害が発生した際、避難所のリーダーは男性、炊き出しやトイレ掃除は女性が行うという役割分担ってどうして?

お父さんが職場で「男性なのに毎日お弁当作ってすごいね」と言われたらしく複雑な気持ちになった。



学校に提出する書類の保護者欄にいつも夫の名前を書いてました。「なぜお母さんの名前を書かないの」と子供に聞かれ、ハッとさせられた。

私たちは、何かを見たり、聞いたり、感じたりしたときなどに、「無意識に「こうだ」と思い込む」ことがあります。

これを、アンコンシャス・バイアス(unconscious bias)といいます。言葉を知らない方もこんな風に思ったことはありませんか。



子供の頃から機械いじりが好きで大学は機械工学科に進学。周りからは「女の子なのに珍しいね」と言われびっくりした。

子育てをするお父さんは「イクメン」と称賛されるのに、お母さんがいくら育児を頑張っても何も言われないのはなぜ?

赤いランドセルをみて、「女の子のものだ!」と思ったけど、実際は違った。

アンコンシャス・バイアスから 生まれる影響

「女性に理系の進路や職業は向いていない」

「仕事より育児を優先する男性は仕事のやる気が低い」

「性別による向き、不向きがある」

これらはすべてアンコンシャス・バイアスの一部です。無意識に男らしさや女らしさなど、性別や年齢、学歴などに対して偏った見方をしてしまうことがあります。このように社会の中で作られた「固定的な性別役割分担意識」により、自分や子どもなど周りの人の可能性を狭めてしまったり、傷つけたりしてしまうことがあります。まずは「無意識の思い込み」に気づくことが大切です。

女子中高生は理工系に興味がない?!

大学生(学部)に占める女子学生の割合 (専攻分野別、令和6年度)



内閣府「男女共同参画白書 令和7年度版」(令和7年6月)

近年のデジタルトランスフォーメーション(DX)の進展などにより、理系の人材はますます重要となっていますが、大学理系学部における女子学生の比率は文系学部と比較して低く、特に工学部では16.7%と非常に低い割合にあります。

また、女性研究者の割合も諸外国と比較すると依然として低い水準にあります。人口減少が続く日本において、多様な視点や優れた発想を取り入れ科学技術イノベーションを活性化していくためには、女子中高生の理系分野への興味、関心を高め、適切な理系進路の選択を可能とすることで、次世代を担う女性の科学技術人材を育成することも重要です。

「パルカート」は「こうとう区報」と一緒にお届けしています

ご家庭・事業所等で配布が必要ない場合や、配布部数の変更を希望する場合は、全戸配布コールセンター(月～金(祝日、年末除く)と配布日の9:00～19:00) ☎03-3368-3940へ

読み終わったパルカートは古紙回収へ

